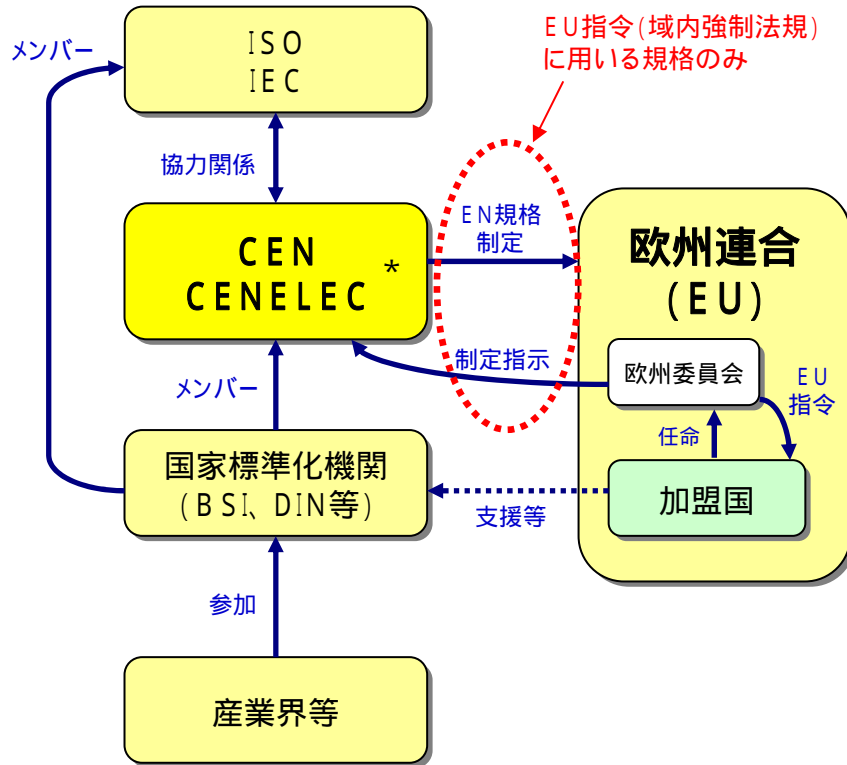


# 主要国における国際標準戦略

経済産業省

# 1. 欧州連合 (EU)



- ・ 欧州委員会の主導のもと、CEN、CENELECによるEN規格を、EU指令の技術基準に援用 (ニューアプローチ: 1985年)
- ・ 効率的な規格制定の観点からのCEN/ISO間、CENELEC/IEC間の協力 (ウィーン協定: 1991年、ドレスデン協定: 1996年)

\* CEN (欧州標準化委員会), CENELEC (欧州電気標準化委員会)。  
 なお、両委員会には、EU加盟25カ国に加え、ノルウェー・スイス・アイスランド・ルーマニアの国家標準化機関も参加。

## EUの標準化戦略

### 欧州閣僚理事会決議 (2004年10月)

- ・ リスボン戦略 (EUの経済活性化戦略) への貢献
- ・ EU法規における標準のさらなる活用
- ・ 新たな分野における標準化の推進
- ・ 標準化活動の効率・一貫性・透明性の改善
- ・ グローバル化への対応強化

### 欧州標準化アクションプラン (欧州委員会企業総局、2006年4月)

(上記コミュニケに基づき、具体的対策を列記。)

- ・ サービス、ナノテク等の17分野での目標設置
- ・ 標準化活動の効率・一貫性・透明性の改善
- ・ 域外諸国との協力 (ロシア、日本、中国、ASEAN等)

## CEN、CENELECの戦略

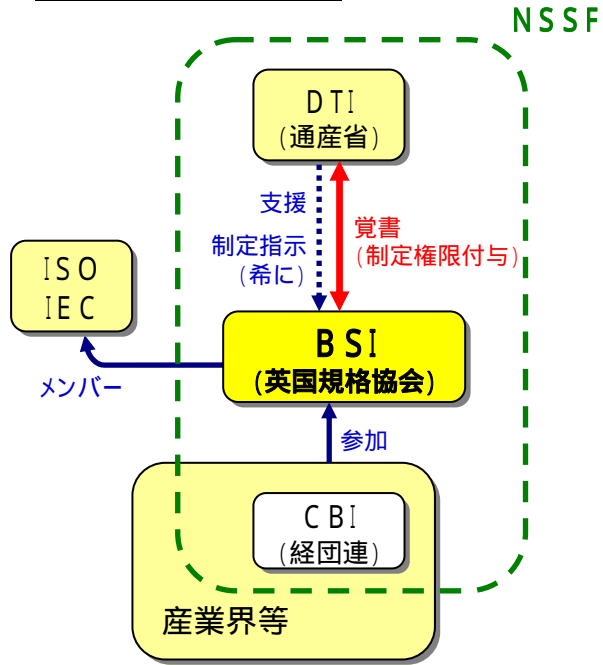
### CEN Strategy 2010 (1998年10月)

- ・ 規格利用者の利便性向上 (EU指令に関する例示規格制定の充実)
- ・ ISO、WTO等における欧州統一ポジションの形成
- ・ EU拡大の円滑化への貢献

### CENELEC's Visions Until 2010 (1998年10月)

- ・ IECとの協力の継続、深化 (EN規格よりも国際規格の制定を優先)
- ・ EU指令に基づく強制法規へのサポート
- ・ 電機業界との連携強化、市場ニーズへの適応

## 2. イギリス



### イギリスの標準化戦略

NSSF (国家標準化戦略フレームワーク)

(DTI, BSI, CBI等により2003年発足。)

- ・ 標準化による経済活動の革新
- ・ 規制行政の効率化の推進
- ・ 中小企業、一般市民による標準化活動への認識向上

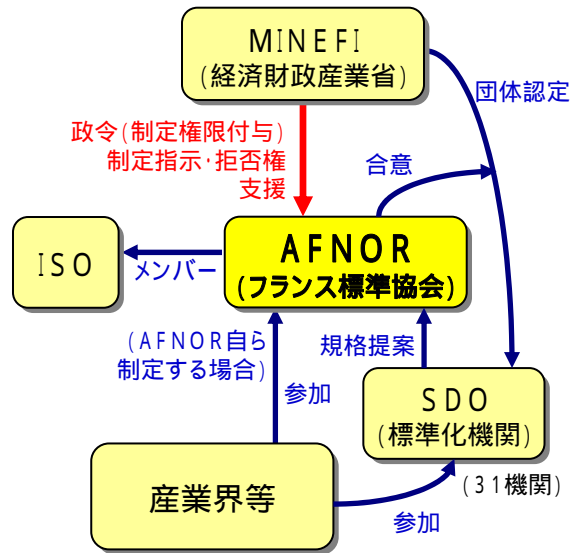
等の重要性を主張

The Public Policy Interest in the U.K. in Standardisation

(2000年10月、DTI・BSI合同文書)

- ・ 以下の3点を標準化の目的として明記。
  - 競争力とイノベーションの追求
  - 技術的障壁の除去
  - 公正な取引と消費者保護

## 3. フランス



\* IECには、SDOのひとつであるUTE (フランス電気技術協会) がメンバーとして参加。

### フランスの標準化戦略

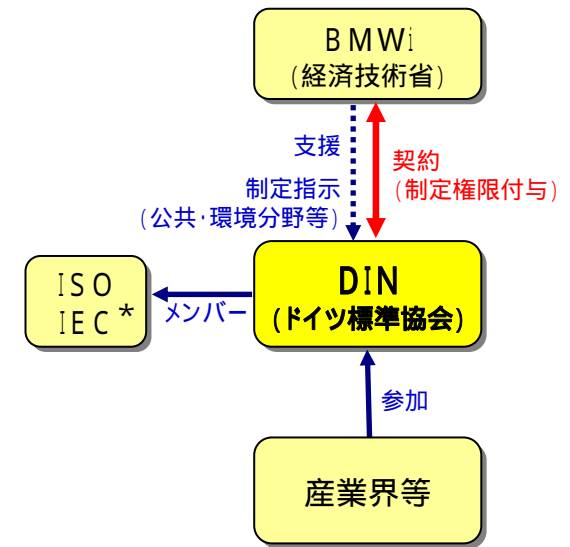
フランス標準化戦略2006～2010

(AFNOR, 2005年12月)

- ・ グローバル化への対応
  - 欧州・国際標準へのフランスの利害の反映
  - 世界市場を視野に入れた標準化の推進

- ・ 持続可能な発展の推進
- ・ 規制、フォーラム規格等との連携
- ・ 標準化制度の効率化等

## 4. ドイツ



\* IECには、ドイツ電気技術協会と共同運営するDKE (ドイツ電気技術委員会) を通じて参加。

### ドイツの標準化戦略

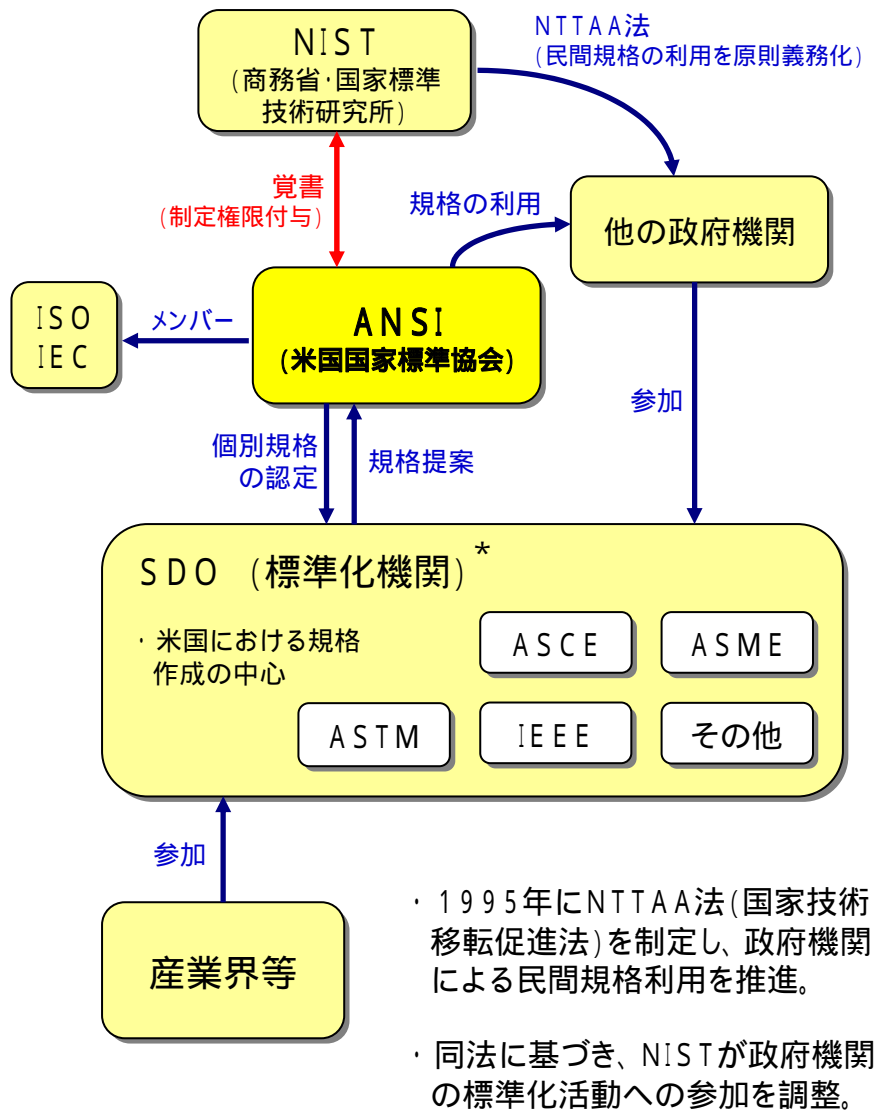
ドイツ標準化戦略

(DIN, 2004年)

- ・ 産業競争力強化への貢献
  - 成長分野での標準化に重点
  - 研究開発と標準化の一体推進

- ・ 社会における標準化への認識向上
- ・ 規制緩和のツールとしての活用
- ・ 製品群全体をひとつのシステムとして捉えての標準化推進
- ・ 標準化制度の効率化等

# 5. 米国



## 米国の標準化戦略

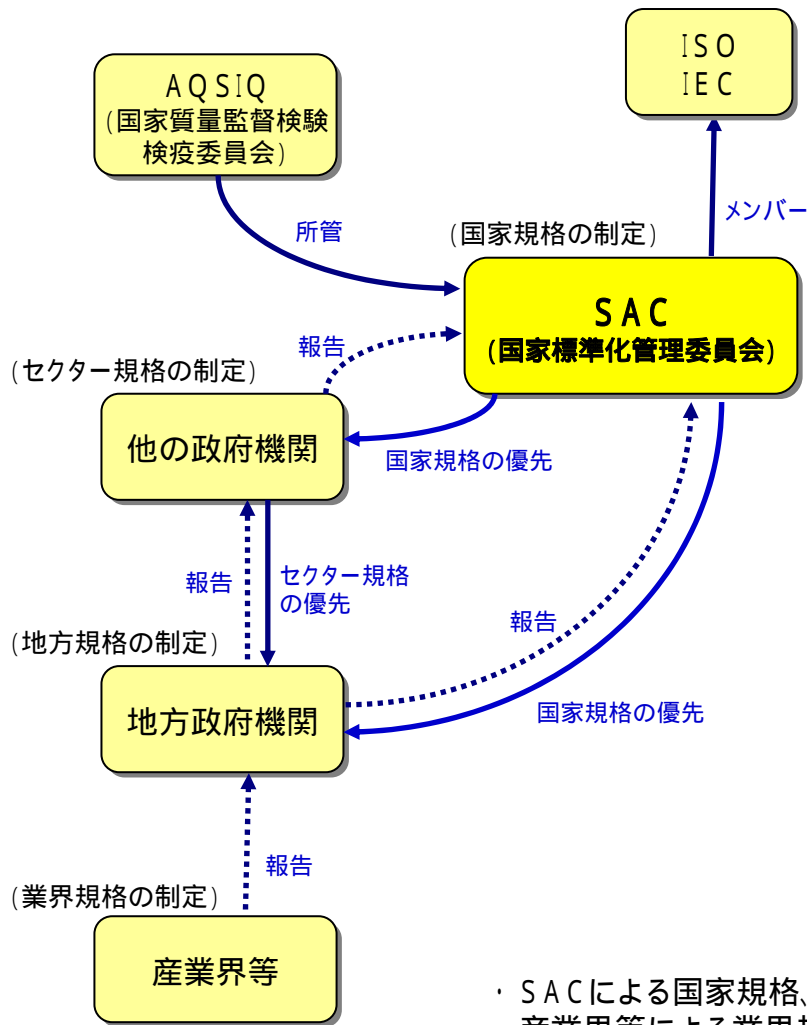
### 米国標準化戦略(2005年)

(ANSIにより、政府・産業界・SDO・消費者団体・学会等の関係者と調整し制定。)

- ・ 任意規格の作成に向けた政府・民間のパートナーシップを強化
- ・ 環境、健康、安全の分野での標準化の充実
- ・ 消費者の規格作成への関与の促進
- ・ 国際標準化活動への積極的参画
- ・ 規制における任意規格の活用方法の統一化
- ・ 諸外国の規格制度による貿易障壁の防止・除去
- ・ ANSIを中心とした、諸外国へのアウトリーチ活動(規格制度を開発中で、市場ポテンシャルの高い国を主なターゲットとする)
- ・ 規格制定の迅速化・効率化に向けた努力の継続
- ・ 異なるSDOの作成による規格の一貫性の確保(SDO間の連携強化)
- ・ 標準化教育の充実

\* ASCE(米国土木学会)、ASME(米国機械学会)、ASTM International(米国材料試験協会)、IEEE(米国電気電子学会)ほか。  
米国のSDOは、それぞれが国際的な標準化機関であるという意識が強く、「米国～」といった形の翻訳は公式採用しないことが多い(ASTM International、IEEE等)。

# 6. 中国



## 中国の標準化戦略

国家中期科学技術発展計画綱要 (2006年2月)  
 (科学技術部作成。総書記・総理出席の「全国科学技術大会」  
 においてオーソライズされたもの。)

### 八、重要施策及び措置

#### 4. 知的財産権戦略と技術標準戦略の実施

< 抜粋 >

- ・ 政府、業界団体は重要技術標準の制定にあたっての協調を強化し、技術標準を優先的に採用
- ・ 強制法規と技術標準の体系構築を推進
- ・ 標準制定と科学研究・開発・設計・製造との一体化
- ・ 積極的に国際標準化活動に参加し、中国の標準の国際標準化を推進

- ・ SACによる国家規格、他の政府機関によるセクター規格、地方政府機関による地方規格、産業界等による業界規格の4層構造。